

## 令和7年度第4回柏市環境審議会会議録

### 1 開催日時

令和8年3月16日（月）午前10時から正午まで

### 2 開催場所

ウェルネス柏 4階 研修室

### 3 出席者

#### (1) 委員

青柳会長，野田副会長，愛知委員，小野委員，鈴木委員，川瀬委員，松清委員，村田委員，千田委員，藤原委員，伊藤委員，笠原委員，木内委員，富田委員（計14名）

#### (2) 事務局

後藤環境部長，村松環境部次長兼廃棄物政策課長，阿部環境政策課長，北村ゼロカーボンシティ推進課長，寶田環境政策課主幹，他4名（計9名）

### 4 議題

次期柏市環境基本計画（案）について

### 5 議事（要旨）

次期柏市環境基本計画（案）について

資料に基づき，事務局より説明。

その際に表明された主な意見は，次のとおり。

（以下，委員意見）

（村田委員）

- ・ 55ページのリユースの説明について，「ごみとなったものについては繰り返し使う」という表現には違和感がある。「使えるものは」などの方が良い。資源とごみは別である。
- ・ 56ページの表中にも「ごみにしない」とあるが，その結果につなげるために具体的に何に取り組めば良いのか分かりづらい。

（青柳会長）

- ・ 55 ページは、「ごみ」ではなく「不要となったもの」などの表現の方が良いのではないかと。56 ページのリフューズは、具体的な行動としては「断ること」が挙げられる。表現はもう少し検討いただきたい。

(小野委員)

- ・ 「ごみ」という言葉が、最初に発生するものと最終的な状態のものが異なる意味で使われている。「ごみをごみにしない取組として」という表現も、一つ目の「ごみ」と二つ目の「ごみ」は別のものを定義しているのだと思うが、読む側には分かりづらいため、表現を検討してほしい。

⇒ (事務局)

- ・ リデュースの具体的な行動には、ごみの量を減らしていくことなどがあると考える。
- ・ 表現については、いただいた意見を事務局で整理し、会長と相談のうえ対応を検討したい。

(愛知委員)

- ・ 37 ページ、コラム「柏市役所ゼロカーボンアクションプラン」の「主な取組等による削減見込量」の表について、「電気購入量の削減等」と「照明のLED化」はどちらも省エネの取組であるが、LED化だけ別項目となっている理由を知りたい。

⇒ (事務局)

- ・ 柏市役所ゼロカーボンアクションプランの策定時、令和6年度から令和8年度にかけて公共施設のLED化を推進する施策を定めた。その政策の趣旨を明示する意図で、削減見込量を別項目として示している。
- ・ アクションプランは改定予定であり、次期計画においては、LED化は省エネ（電気購入量の削減等）の取組に含めることを検討している。

(愛知委員)

- ・ パブリックコメント番号12において、EM (Effective Microorganisms : 有用微生物群) 菌は学会が

否定している技術であるという意見があった。生ごみ処理においてEM菌は有害ではないと思うが、EM菌については、非科学的な提唱も確認されるため、EM菌という言葉に引っかかる方がいいのかもしれない。「生ごみ発酵容器」などの一般的な表現・名称の方が無難かもしれない。

(小野委員)

- ・調べたところ、パブリックコメントで記載があったような、学会がEM菌を否定している声明などは見つからなかった。
- ・一方で、研究者の意見として、EMはさまざまな微生物のクラスターを指しているため、それを有用とするのは非科学的だというものも確認された。
- ・EM菌だから効果があると明言してしまうのは良くないというのが愛知委員の意見かと思う。表現は検討いただければと思う。

(野田副会長)

- ・EMが固有名詞のように受け取られてしまうと、不要な誤解を生むのではないか。EM菌は原理的にはコンポストと同じであるため、表ではコンポストとまとめてもいいのではないか。機械的な処理方法とそれ以外という分け方も良いかもしれない。

(松清委員)

- ・EMについては副会長のご意見に同意である。

(青柳会長)

- ・表現方法に関しては検討をお願いしたい。

⇒ (事務局)

- ・EM菌について、パブリックコメントを受けてこのようなご意見があることを認識した。生ごみ処理容器の補助事業は非常に好評であり、引き続き展開していきたいと考えているが、このようなご意見があったことは頭に入れ、世論なども踏まえつつ、表現は検討していきたい。

(川瀬委員)

- ・ 24～25ページのイラストについて、解説文を入れた点は良いと思う。
- ・ 柏市にはまだ農地が残っている。「良好な大気と安全な水質が保たれています」という解説文があるが、農地があるから良好な自然が保たれているという言葉を入れても良いように思う。
- ・ イラスト中に柏インターが無い点が気になる。柏インターは重要な箇所だと思う。周辺の物流倉庫や事業活動において、開発は進みながらも、エネルギー削減などの取組が進んでいることを入れてもらえると思う。

⇒（事務局）

- ・ イラストの修正は、時期の関係で今回の計画への反映は難しいため、次回改定の際に委員の皆様から意見をいただき検討したい。
- ・ 解説文についても、具体的な場所の名前を入れるのは難しいと判断して今回はこのような記載としたが、見直しの際は変更も検討したい。

（松清委員）

- ・ コラムは本計画の要かと思うので、可能であればコラムの目次を作成してほしい。

⇒（事務局）

- ・ コラムのページ数も目次に追加する。

（青柳会長）

- ・ パブリックコメントで用語集について回答があったが、追加されるという認識で良いか。

⇒（事務局）

- ・ ご認識の通り、追加予定である。

（笠原委員）

- ・ 67ページ、生活環境の基本施策2「環境美化の推進」について。ぽい捨での発生防止につながるのは、拾うことではなく、ぽい捨てさせないことであり、その方法を検討しなくてはいけないのではと思う。喫煙所の撤去後、有料駐車場にタバコの吸い殻のぽい捨てが増えている。メインの取組が「拾う」で良いのか。ぽ

い捨てをさせない，減らす方向には持っていけないのか。

⇒（事務局）

- ・おっしゃる通り，ぽい捨てをさせないことが重要であることや，喫煙所に関する問題も認識している。本計画においても，ぽい捨ての防止について記載しているが，具体的な取組については，担当部署とともに，事業者，市民の皆様などとも連携して取り組んでいきたい。

（笠原委員）

- ・啓蒙活動などはすぐにでも取り組めることではないかと思う。後ほど検討する，ではなく，他自治体の事例を収集して実行するなどしてほしい。例えば，防犯カメラを設置するなど。まちを歩いて，ごみが落ちていたら拾う人は柏にはあまりいない。捨てる場所が少ないからかもしれないが，意識の低さもあるのかもしれない。自然が豊かで住みやすいまちにしていくためには，住民や，まちを訪れる方の意識改善も大事である。

⇒（事務局）

- ・先進事例調査は行っていきたい。
- ・柏に関わる皆様が気持ちよく過ごせるよう，ごみをぽい捨てさせないための取組について，行政として，事業者の皆様とも相談して取り組んでいきたい。

（鈴木委員）

- ・パブリックコメント26番，こんぶくろ池に関するご意見について。市の回答の通り，本計画とは別件なのかと思うが，本計画ではここへの対応が薄いことへの批判なのではないか。
- ・自然環境の基本施策1では，自然環境保全に力を入れるとあるが，その前の重点施策において特定外来生物が重点的に取り扱われており，階層が逆になっている。外来生物対策ではなく，開発による自然環境の破壊への対策や自然環境保全に力を入れてほしいというのが，このパブリックコメントの内容なのではないか。43ページにおいて，外来生物以外の生きものも重要視していることを示してほしいが，可能か。

(青柳会長)

- ・ 自然環境の「現状と課題」のトップに都市化の進展について記載されており、順番としては誤りではないと思う。施策の順番として、特定外来生物対策が強調されている印象になっている。

(鈴木委員)

- ・ それで誤解を与えてしまうのではないかと思う。大きな構成変更ではなく表記の微修正などでも構わない。

(青柳会長)

- ・ 特定外来生物だけではなくて、柏市全体の自然環境に注目していることが伝わるよう、お願いしたい。

⇒ (事務局)

- ・ 柏市生きもの多様性プランを改定する際は、本パブリックコメントのご意見も参考にしたい。
- ・ 特定外来生物対策を重要施策に位置付けた関係で、全体のバランスが難しいところはある。再検討を行うと審議会を再開催する必要があるため、ご指摘の点は次回見直しの際に検討したい。

(小野委員)

- ・ 24～25ページのイラストについて、補足できるところは解説文を加えていただければと思う。
- ・ 6ページの本文に金山落が記載されているが図中には記載がない。白井市との境目に位置しているため描かれていないのかと思うが、いずれ描いてほしい。

⇒ (事務局)

- ・ 6ページの図は、柏市生きもの多様性プランから引用している。記載については、今後の課題として対応を検討したい。

(伊藤委員)

- ・ 67ページの「環境美化の推進」について。ぽい捨てというと駅前イメージが強いが工業団地でも多い。雑草や側溝の中は、きれいにしているとぽい捨てごみは少ないが、放置して生い茂ってくると増えてくる。ぽい捨て防止の啓蒙活動も必要だが、雑草の

処理など、捨てられない環境づくりが必要であると思う。

⇒（事務局）

- ・工業団地においては、歩道部分と、各事業者の敷地の境界に雑草が生い茂り、ごみが捨てられているケースが見受けられる。
- ・市所有の歩道であれば道路部門と協議し、予算の範囲内であれば刈り取りを検討できるかと思う。事業者所有の敷地であれば、各事業者にて清掃活動を実施いただけるよう啓発に努めていきたい。

## 6 答申

事務局より答申案を配付。

（青柳会長）

- ・この答申案でよろしいか。

（一同）

- ・異議なし。

<会長から環境部長へ答申書の提出>

## 7 傍聴者

2名

## 8 配付資料

(1) 次第

(2) 委員名簿

(3) 席次表

(4) 柏市環境基本計画（案）パブリックコメント実施結果

(5) 柏市環境基本計画（第四期）（案）